

第10回市議会臨時会

詳細 議会事務局総務課 ☎32-6785

議会人事を中心に審議

第10回市議会臨時会は、5月12日(火)から15日(金)までの4日間開催されました。今臨時会では、新しい議長に柳谷昭次郎議員が、副議長に小林洋一議員が選ばれました。このほかに新しい監査委員や苦小牧港管理組合議会議員、各種委員会委員も決まりました。また、教育長から、第2学校給食共同調理場におけるアスベスト飛散事故について行政報告があり、質疑が行われました。今臨時会で審議された主な内容と結果は次のとおりです。(以下敬称略)



議長 柳谷 昭次郎



副議長 小林 洋一

このたび、三海市議会議長の辞任に伴い、市議会臨時会においてご推挙いただき、市議会議長の要職に就くことになりました。まことに身に余る光栄であり、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、市政の発展と充実した議会運営のために、公平・公正に徹する決意でございます。

さて、百年に一度といわれる世界的な経済不況の中、わが国および本市におきましても依然として極めて厳しい経済情勢にあります。こうした中で、本市においては財政の健全化を目指し、各種の行政改革を断行し、地域経済の活性化を図り、医療・福祉および教育など市民に密着した課題に対処することが、喫緊の課題となっております。

そのためにも、議事を挙げて市民の負託に応え、活発な議会の論議とその運営を心がけていくことが大事であると考えております。市民の皆さんの一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

苦小牧市議会議長 柳谷 昭次郎

議会人事

●議長・副議長の選挙
自治法の規定による指名推選で議長に柳谷昭次郎議員が、同法の規定による投票で副議長に小林洋一議員が当選しました。

●苦小牧港管理組合議会議員の選挙
自治法の規定による指名推選で次の議員(5人)が当選しました。
小野寺幸恵、林光仁、鳥越浩一、三海幸彦、沖田清志

●監査委員の選任
辞任に伴う後任の非常勤監査委員(議会選出)として池田謙次議員の選任に同意しました。

●農業委員会委員の選任
谷本誠治、阿久津修一

●常任委員会委員の選任
総務委員会(7人、所管〓総合政策部、総務部、財政部、交通部、消防本部など) 委員長〓谷川芳一 副委員長〓谷本誠治 委員〓岩田典一、林光仁、熊谷克己、鳥越浩一、阿久津修一

●厚生委員会(8人、所管〓市民生活部、環境衛生部、保健福祉部、市立病院) 委員長〓藤田広美 副委員長〓松井雅宏 委員〓矢野誠、小野寺幸恵、北岸由利子、後藤節男、山中保、三海幸彦

●文教経済委員会(8人、所管〓産業経済部、教育委員会、農業委員会) 委員長〓西野茂樹 副委員長〓木村司 委員〓神山哲太郎、渡邊敬明、富岡隆、矢嶋翼、小林洋一、柳谷昭次郎

●建設委員会(7人、所管〓都市建設部、上下水道部) 委員長〓田村雄二 副委員長〓金澤俊 委員〓岸本憲宜、渡辺満、池田謙次、沖田清志、守屋久義

●議会運営委員会委員の選任(9人) 委員長〓渡邊敬明 副委員長〓熊谷克己 委員〓木村司、林光仁、松井雅宏、西野茂樹、山中保、渡辺満、矢嶋翼

●特別委員会委員の選任
総合開発特別委員会(14人)

委員長〓岩田典一 副委員長〓矢野誠 委員〓金澤俊、藤田広美、小野寺幸恵、北岸由利子、松井雅宏、後藤節男、山中保、富岡隆、阿久津修一、三海幸彦、谷川芳一、沖田清志

●自動車運送事業に関する調査検討特別委員会(14人) 委員長〓守屋久義 副委員長〓神山哲太郎 委員〓岸本憲宜、渡邊敬明、谷本誠治、木村司、林光仁、熊谷克己、西野茂樹、鳥越浩一、渡辺満、矢嶋翼、池田謙次、田村雄二

●各種委員の推薦
民生委員推薦委員会(2人) 松井雅宏、渡辺満
都市計画審議会委員(4人) 北岸由利子、鳥越浩一、矢嶋翼、沖田清志

報告

介護従事者処遇改善臨時特例交付金の確定と施設介護サービス給付費の減額、介護予防特定高齢者施設事業費の増額に伴う平成20年度苦小牧市介護保険事業特別会計補正予算(第4、5回)、特定健康診査などに要する経費の増額に伴う平成20年度苦小牧市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3回)の専決処分について報告され承認されました。また、苦小牧市三光町の市道において車両が圧雪による車道のくぼみ部分を通る際に、損傷を受けた物損事故による損害賠償額の決定についての専決処分が報告され、これに伴う平成20年度苦小牧市一般会計補正予算(第9回)の専決処分について、報告され承認されました。

第2学校給食共同調理場のアスベスト対策費に伴う平成21年度苦小牧市一般会計補正予算(第2回)の専決処分について報告され承認されました。

このほか、地方税法等の改正に伴う苦小牧市条例等の一部改正の専決処分が報告され承認されました。

委員〓岩田典一 副委員長〓矢野誠 委員〓金澤俊、藤田広美、小野寺幸恵、北岸由利子、松井雅宏、後藤節男、山中保、富岡隆、阿久津修一、三海幸彦、谷川芳一、沖田清志

●自動車運送事業に関する調査検討特別委員会(14人) 委員長〓守屋久義 副委員長〓神山哲太郎 委員〓岸本憲宜、渡邊敬明、谷本誠治、木村司、林光仁、熊谷克己、西野茂樹、鳥越浩一、渡辺満、矢嶋翼、池田謙次、田村雄二

●各種委員の推薦
民生委員推薦委員会(2人) 松井雅宏、渡辺満
都市計画審議会委員(4人) 北岸由利子、鳥越浩一、矢嶋翼、沖田清志

苦小牧市第2学校給食共同調理場のアスベスト含有断熱材煙突の改修工事の終了と市有施設のアスベスト含有断熱材の使用状況調査結果報告について

第2学校給食共同調理場のアスベスト含有断熱材煙突の改修工事について

3月9日に苦小牧市第2学校給食共同調理場において発生したボイラー事故により、煙突内のアスベスト含有断熱材の一部が飛散し、地域住民の皆さんに大きな不安を与える事態が発生しました。市では「緊急事態等対策会議」を開催し、第2学校給食共同調理場の煙突改修および施設内の環境濃度測定調査を実施するとともに、複数のアスベスト医療専門家をはじめ関係機関の意見を聴くなど、健康被害について対応を検討してきました。

健康被害については、専門家などからは総合的な判断意見として、飛散アスベストによる影響は極めて少ないとの見解を得ておりますので、ぜひご理解願います。また、今後の健康相談については、市健康支援課で担当いたします。

第2学校給食共同調理場の煙突改修工事は4月15日までにアスベスト含有断熱材をすべて撤去し、アスベストを含まない断熱材に交換しました。

アスベスト対策工事の概要

- 工事期間
・平成21年3月19日～4月15日(28日間)
- 工事内容 煙突内煙道改修工事
・アスベスト含有断熱材の完全撤去
・新断熱材(ノンアスベスト製品)および煙突陣笠取り付け
- アスベスト含有断熱材の成分分析結果
・アモサイト(茶石綿)含有率88.0%
- 工事終了後の煙突排気口および周辺の石綿繊維数濃度測定結果
・石綿繊維数空気中濃度(本/L) 5本未満 (WHO世界保健機関によると、1～10本/L程度であれば健康リスクは検出できないほど低いとされています)

市有施設のアスベスト含有断熱材の使用状況調査結果報告について

ほかの市有施設においても、同様の煙突が使用されていることから、環境保全課、建築課において実態調査を行いました。その結果、下表のとおり42カ所中、現在37カ所アスベスト含有断熱材を使用しており、このうち2カ所の施設(市第2庁舎、住吉コミセン)については、今後において飛散の可能性があることから、早期に改修が必要と判断し、使用停止するとともに、改修をいたします。

なお、ほかの35施設については、安定した状態ですので、引き続き定期的に点検を行いながら使用していきます。

調査対象市有管理施設	使用中の有無	煙突内アスベスト含有断熱材	使用状態	調査対象市有管理施設	使用中の有無	煙突内アスベスト含有断熱材	使用状態
1 第2庁舎	使用中	成形ライニング材	飛散の可能性あり	22 明德小学校	使用中	成形ライニング材	安定
2 第2庁舎南			安定	23 泉野小学校			
3 豊川コミセン			飛散の可能性あり	24 勇弘中学校(校舎)			
4 沼ノ端コミセン				25 勇弘中学校(講堂)			
5 住吉コミセン			安定	26 沼ノ端中学校(校舎機械室)			
6 交通安全センター				27 沼ノ端中学校(第2機械室)			
7 錦大沼公園センターハウス				28 沼ノ端中学校(講堂)			
8 新開庁舎				29 啓明中学校(校舎)			
9 錦西営業所				30 明野中学校(校舎)			
10 消防署				31 中央図書館			
11 沼ノ端出張所				32 博物館			
12 新富出張所				33 勇弘地区公民館			
13 住吉出張所				34 サイクリングターミナル			
14 西町下水処理センター管理棟				35 川沿公園体育館			
15 勇弘小学校(講堂)			36 ときわスケートリンク				
16 沼ノ端小学校(5校舎)			未使用	37 環境保全課庁舎			
17 沼ノ端小学校(講堂)				38 サンガーデン			
18 沼ノ端小学校(2校舎)				39 勇弘小学校(校舎旧煙突)			
19 植苗小学校(1校舎)				40 沼ノ端中学校(1校舎)			
20 植苗小学校(旧講堂)				41 消防署錦岡出張所			
21 豊川小学校				42 植苗小学校校舎			
				取り壊し予定 平成21年改修予定			

アスベストとは

アスベストは天然に産出する蛇紋岩などの鉱物繊維で「石綿」と呼ばれ、風化により一般の大気中にも微量ながら浮遊しているものです。アスベストは工業用原料として、建材や自動車ブレーキ、シール断熱材、保温材、電気製品などさまざまな工業製品に使用されてきましたが、特に建材の吹きつけアスベストや吹きつけロックウールなどは、飛散しやすいことから社会問題となり、アスベスト成形板を除いて、囲い込みや除去の安全対策が国の指導により行われています。今回の煙突の飛散事故で使用されていた含有断熱材は、アスベスト成形板といわれる比較的飛散しにくい製品で、通常の使用では健康に心配ないとされています。建物の改修・解体工事を行う際にはアスベストが飛散しないように適切な対処が求められています。

はすかっぱ

苦小牧市長 岩倉博文

新たな苦小牧港づくりにチャレンジ

6月5日、大型クルーズ客船「ふじ丸」を苦小牧港西港区に迎え、盛大に歓迎セレモニーが行われました。

昭和38年にこの西港区に第1船が入港して約50年。苦小牧のまちづくりは港を抜きに語ることはできません。私は苦小牧港を眺めるたびに、敗戦直後、原野を掘り込んで港を造ることに挑戦した先人たちの情熱と先見性を感じるとともに、今こそ、新たな港づくりに向けた意識と戦略を持たなければならぬと思います。

この50年の間に、苦小牧港は全道の港湾貨物取扱量の約50%を占め、さらに国内貿易貨物取り扱いでは全国1位を誇る物流拠点港として着実に成長いたしました。しかし昨年来の世界同時不況の波により、貨物取扱量が減少するなど、苦しい状況も生じてきております。

こうした苦境を乗り越えるためには、次なる50年を見据え、港湾機能をいかに高めるかが我々世代に課せられた大きなテーマであると考えます。今後とも、北海道経済を支える苦小牧の成長・発展の底力となる足腰の強い港湾づくりに情熱を持ってチャレンジしてまいります。



市長 岩倉 博文